

# 資料 1 - 1

## 野々市市第一次総合計画の総括について

※「成果指標の達成率」：各施策の成果指標の達成率の平均値  
(感染症拡大により影響を受けたと見込まれる指標を除いて算出)

政策	計画期間中の主な事業	成果	成果指標の達成率(平均)	現状・課題を踏まえた今後の取組
政策 1 【市民生活】 一人ひとりが担い手のまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動の拠点施設「市民活動センター」開館</li> <li>○町内会でのスマートフォンアプリ「結ネット」の運用</li> <li>○市内外の大学と連携協定を締結し、様々な分野で連携を推進</li> <li>○姉妹都市交流・教育国際交流事業</li> <li>○男女共同参画推進員による啓発活動</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カミーノの開館により、市民協働の拠点としての機能性が向上</li> <li>○全ての町内会が結ネットを導入し活用につながった。</li> <li>○大学が有する最新の知見を活かした様々な連携事業の実施により、まちづくりや地域課題を解決する取組が推進</li> <li>○野々市市、ギズボン市の式典に互いの市長・議長等が出席するなどにより相互に交流を深めることができた。</li> <li>○法務局や関係機関との連携を強化し啓発活動を行うことで、人権尊重意識の高揚を図った。</li> </ul>	90.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カミーノ等の拠点施設の利便性向上、主体間のネットワーク構築支援、ICTの活用推進を通じて地域の活動・市民活動の支援を図っていく。</li> <li>○大学や企業など様々な主体と連携し、まちづくりや地域課題の解決に向けた取組を進める。</li> <li>○伝統行事の継承に向けた取組、地域の伝統行事に対する市民の意識向上・地域への愛着心を育む取組を進める。</li> <li>○多文化共生の地域づくりに関心を持つ市民を増やすための取組を進める。</li> <li>○男女共同参画の啓発や、多様化する人権課題に対して人権尊重の理念の浸透を図る。</li> </ul>
政策 2 【福祉・保健・医療】 生涯健康 心のかよう福祉のまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町内会へ地域支え合いマップの作成支援及び作成の促進</li> <li>○生活習慣病に関する集団健診・個別健診の実施</li> <li>○地域包括支援センターの機能強化</li> <li>○障害者の支援体制構築に向けた自立支援協議会の設置</li> <li>○公立保育園の民営化や法人運営保育園の新規開園、放課後児童クラブの増設</li> <li>○子育て世代包括支援センターの設置</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域での助け合いや交流、ボランティア活動の推進等の実施により、徐々に地域福祉活動に参加する市民等が増加</li> <li>○総合事業及びケアプランの適正化に取り組み、介護認定率及び介護サービスの給付費を維持</li> <li>○市内相談支援事業所による身近な相談窓口の確保</li> <li>○子育て世帯への経済的負担軽減</li> <li>○保育園や放課後児童クラブ等の計画的な施設整備による待機児童ゼロの継続</li> </ul>	91.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民生委員・児童委員の活動の支援やボランティア育成により必要な時に助け合える体制づくりの構築に向けて検討を進める。</li> <li>○健診の未受診者対策、重症化予防対策の推進に向けて検討を進める。</li> <li>○福祉の推進に向けて、市内の相談支援事業所やサービス事業所、当事者団体、社会福祉協議会等と連携して取り組んでいく。</li> <li>○子育て世代包括支援センターでの妊産婦や子育て世帯への情報提供や相談等の支援の充実を図る。</li> <li>○引き続き待機児童を出さないよう今後の保育ニーズを把握し受け皿の確保に取り組む。</li> </ul>
政策 3 【安全安心】 安心とぬくもりを感じるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合防災訓練の実施</li> <li>○防災士の育成</li> <li>○上下水道の配水本管等の耐震化</li> <li>○消防団員の確保</li> <li>○福祉避難所の指定（高齢者施設や特別支援学校と設置運営に関する協定締結）</li> <li>○防犯ボランティア団体と協力したパトロールの実施</li> <li>○消費生活センターの運営、啓発活動の実施</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主防災組織の結成支援と防災士の育成による共助の推進</li> <li>○住宅耐震改修における補助制度の拡充による耐震改修の促進</li> <li>○下水道の計画に基づく幹線管渠の耐震化率100%を達成</li> <li>○河川や道路の画像情報等を水防・除雪時に活用可能にし、初動体制が充実</li> <li>○幼児、小・中学生、高齢者等を対象とした交通安全教室の実施や交通安全街頭指導による交通安全意識の向上</li> <li>○消費者トラブル等について若者から高齢者まで誰もが安心して気軽に相談できる体制の構築ができた。</li> </ul>	79.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主防災組織、防災士など地域の防災リーダーと連携し、避難所運営体制の確立や備蓄品の強化を図る。</li> <li>○福祉避難所の更なる確保を進める。</li> <li>○住宅の耐震化の推進、家具等の転倒防止、食料等の備蓄等の啓発を行う。</li> <li>○上下水道施設の計画的な更新・耐震化を進める。</li> <li>○地域防災力の向上を図るため、消防団員の安定確保を図るとともに、訓練等を充実させ、即戦力化を図る。</li> <li>○市民参加・協働型の交通安全活動を推進する。</li> <li>○町内会において顔の見える関係を構築し、日常的な防犯体制を確立するなど、犯罪が発生しにくい環境づくりを進める。</li> <li>○消費生活に対する学習機会の提供や情報提供、啓発活動により、市民の意識向上を図る。</li> </ul>

※「成果指標の達成率」：各施策の成果指標の達成率の平均値  
 (感染症拡大により影響を受けたと見込まれる指標を除いて算出)

政策	計画期間中の主な事業	成果	成果指標の達成率(平均)	現状・課題を踏まえた今後の取組
政策4 【環境】 環境について考える人が住むまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境基本条例の制定及び環境基本計画の策定</li> <li>○市営墓地整備に係る墓地整備等検討委員会の開催</li> <li>○ごみ分別教室(保育園環境教室)や環境保全体験教室の開催</li> <li>○ごみ収集委託業者と連携した子どもごみ分別検定の実施</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境に係る理念条例の制定及び総合的な計画の策定により、本市における環境保全を更に推進</li> <li>○市民1人あたり及び1事業所あたりのごみの排出量の減少</li> <li>○幼児・児童を対象に環境保全についての教室を開催することで、環境保全の機運を高めることができた。</li> </ul>	89.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後も継続して様々な手法・媒体を通じて地球温暖化防止、廃棄物減量化の推進等の啓発活動を実施していく。</li> <li>○今後の市民ニーズに応じて段階的な整備をしながら墓地を確保していくとともに、市営墓地の健全な運営を図る。</li> <li>○様々な環境教育を通じて環境保全活動に対する関心を高める取組を進める。</li> </ul>
政策5 【生涯学習・教育】 みんながキャンパスライフを楽しむまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○組織的・学校運営・学校研究の推進や教職員の研修を通じた授業力向上に向けた取組の実施</li> <li>○小中学校校舎の増改築、耐震化</li> <li>○コミュニティスクール(学校運営協議会)準備委員会の設置</li> <li>○地区公民館・自主サークルの活動支援</li> <li>○各種スポーツ教室の実施</li> <li>○美術展や椿まつり等、芸術文化振興事業の実施</li> <li>○喜多家住宅保存活用計画の策定</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「授業がわかりやすい」と答える児童生徒の割合が増加</li> <li>○エアコン設置、バリアフリー化、校舎の増改築・耐震化等により、安全安心で快適な教育環境を整備</li> <li>○青少年の巡視活動を毎年実施し、商店との協力関係を構築</li> <li>○図書館・地区公民館等の利用者数の増加や生涯学習の機会が充実</li> <li>○喜多家住宅の国指定重要文化財追加指定</li> </ul>	88.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領に基づき教師が確実に指導できるよう、人的・物的な教育環境の整備と研修の充実を推進する。</li> <li>○青少年の健全育成に向けて、非行状況の実態を把握しながら、巡視活動を継続する。</li> <li>○家庭、地域、学校の連携・協力によりコミュニティスクールを効果的に運用し、「地域と共にある学校づくり」を推進する。</li> <li>○カミーンに訪れた若い世代がサークル活動に関心をもち、自主的に活動できる環境の充実を図る。</li> <li>○気軽に参加できるニュースポーツの普及をめざす。</li> <li>○「いしかわ百万石文化祭2023」をきっかけとして、市民が芸術文化に親しみ気軽に触れることができる環境づくりを行う。</li> </ul>
政策6 【産業振興】 野々市産の活気あふれるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本社機能移転等に関する特例措置の周知</li> <li>○創業者・創業希望者への支援</li> <li>○野々市ブランド認定制度の制定及び野々市ブランド商品の認定</li> <li>○関係団体との農業振興施策の検討・推進</li> <li>○観光物産発信拠点施設の整備</li> <li>○地域資源を活用した商品開発に向けた県立大学への研究委託</li> <li>○旧北国街道のにぎわい創出事業の実施</li> <li>○野々市じょんからまつり、椿まつりの開催</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○創業支援により新規開業を促進</li> <li>○各種支援制度により市内事業者の新たな事業展開を促進</li> <li>○野々市ブランド認定制度の確立及び製品の認定</li> <li>○生産団体への育成補助により市特産物の生産が維持</li> <li>○観光物産の発信拠点施設を整備</li> <li>○中央公園を椿まつりの会場に加えるなどの取組により、市花木である椿の更なる魅力発信を実施</li> </ul>	73.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○野々市らしい新産業の創出をめざし、関係機関とのネットワークを生かして中小企業者・小規模事業者への支援体制の充実に取り組む。</li> <li>○創業希望者への支援を行い、地域における雇用の創出、地域経済の活性化等の促進を図る。</li> <li>○野々市ブランド認定制度の課題を洗い出し、検討・改善を行う。</li> <li>○引き続き生産団体に対する農産物の育成補助を行うとともに、関係団体等と協力し、市内農産物の地域生産地域消費を推進する。</li> <li>○勤労者向けの支援制度等の周知に取り組む。</li> <li>○関係団体と連携し、にぎわい創出のための事業を継続して実施していくほか、本市の魅力を実効的に発信できるPRの仕組みづくりを検討する。</li> </ul>

※「成果指標の達成率」：各施策の成果指標の達成率の平均値  
(感染症拡大により影響を受けたと見込まれる指標を除いて算出)

政策	計画期間中の主な事業	成果	成果指標の達成率(平均)	現状・課題を踏まえた今後の取組
<p>政策7</p> <p>【都市基盤】 くらし充実 快適がゆきとどくまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カレード、カミーノの整備</li> <li>○都市公園リニューアル事業</li> <li>○本町通りくらしの道ゾーン整備事業（無電柱化の実施）</li> <li>○つばきの郷住宅の整備</li> <li>○北西部地区や西部中央地区、中林地区等での土地地区画整理事業の施行</li> <li>○幹線道路を中心とした消雪施設の整備</li> <li>○コミュニティバスの増便等</li> <li>○上下水道施設の整備・更新</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>○カレード、カミーノの整備により、市民の学び・文化・芸術や賑わい創出の拠点を整備</li> <li>○新市街地では、地区計画の導入により、周辺環境と調和した良好な市街地形成に寄与</li> <li>○公園に対するニーズの多様化に対応した公園施設の充実、安全性の向上</li> <li>○都市計画道路の整備により、交通渋滞の緩和など交通の円滑化が推進</li> <li>○コミュニティバス利用者数は年々増加傾向（感染症拡大前まで）</li> <li>○優先整備箇所として定めた雨水幹線の整備が概ね完了</li> <li>○水道の安定的な供給、下水道整備地区の拡大</li> </ul>	<p>87.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市施設や居住の適正配置など、ライフスタイルの多様化に適應できる安全で住みやすい居住環境、まちづくりを進めていく。</li> <li>○消雪施設について、幹線道路を優先に必要箇所を見定めながら効率的に整備を進める。</li> <li>○コミュニティバスについて、市民ニーズや人口の分布に応じて交通事業者や近隣市町と連携を図り、より充実した公共交通網の確立をめざす。</li> <li>○雨水幹線整備について、更に優先整備箇所を見定め、計画的に整備を進める。</li> <li>○上下水道施設の長寿命化を図り、計画的な施設の更新を実施する。</li> </ul>
<p>政策8</p> <p>【行財政運営】 住み続けたい！をみんなの声でつくるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全職員に対するコンプライアンス研修の実施</li> <li>○「金沢広域急病センター」の開設をはじめとした幅広い分野における近隣市町との連携事業の実施</li> <li>○マイナンバーカードの申請支援・休日窓口の開設</li> <li>○広域行政窓口サービスによる住民票等の交付</li> <li>○市公式ホームページのリニューアル事業</li> <li>○人事評価制度の本格導入</li> <li>○納税方法の拡充（コンビニエンスストア、クレジットカード等）</li> <li>○ふるさと納税・企業版ふるさと納税等寄附の受入れ</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>○野々市ブランドの確立や観光の活性化を図るための組織体制強化</li> <li>○近隣市町との連携事業数・分野が順調に増加</li> <li>○計画的に専門資格職を採用</li> <li>○人材育成の観点により人事評価制度を効果的に実施</li> <li>○現年度課税分の徴収率の上昇</li> <li>○マイナポータルを活用した電子申請の導入、企業版ふるさと納税制度など、新規制度の活用</li> </ul>	<p>86.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○効率的な組織づくりに努めるとともに、市職員のコンプライアンス意識形成に向けた取組を行う。</li> <li>○市町の広域連携について、既存の事業のほか、新しい課題への対応に向けた取組の検討・推進を図る。</li> <li>○マイナンバーカードの申請支援や啓発活動などに取り組みとともに、マイナンバーカードやICTの活用による行政手続きの省力化・効率化に向けて検討を進める。</li> <li>○市の情報発信について、高齢者や障害者などの情報弱者を取り残すことのないよう紙媒体を併用する等の取組を進める。</li> <li>○歳出削減のため、経常経費の削減、全職員への財政状況の情報提供、予算要求方針の見直しなどを行っていく。</li> </ul>
<p>第一次総合計画（全体）目標達成率</p>			<p>85.7%</p>	